

5. 文化課からのお知らせ

キャンプ瑞慶覧地区は、琉球石灰岩台地の北端に位置しており、湧泉が非常に多く位置している状況にあります。そのため、文化課としては、特色あるまちづくりの一貫として、湧泉をうまく活用していけたら、と考えています。

「水・緑・眺望を生かした いやされるまち」づくりを具体化するため、今年度は、市内または県内他市町村の湧泉活用事例を実際にバスで見て回る「湧泉活用事例巡り会」を企画しています。

事例巡り会については、10月～11月にかけて、4回程度実施する予定ですので、是非ご参加ください。

ぎのわん多自然型住宅地の湧泉位置図



「湧泉活用事例巡り会」での視察候補地 一例



北中城村
荻道ヒージャーガー



南城市
垣花樋川 (カキノハナヒージャー)



整備前



整備後

南城市
船越大川 (フナクシウッカー)

文化財などに関する問い合わせ

宜野湾市教育委員会 文化課 文化財保護係 担当：豊里、森田
TEL：098-893-4430(直通) FAX：098-893-4434

6. 地主会会長のあいさつ

文化財については、まちづくりのなかで活用できるものはしっかり活用し、記録して残すべきものはしっかり残していく、という考えが重要です。これについては、文化課が独自でやっていくのではなく、地主と一緒に勉強会等を通じて検討していきたいということで、文化課からも提案いただいているところです。

今回出てきたいろいろな情報については、収穫として持ち帰ってもらい、今後のまちづくり活動に活用いただくと幸いです。

今回の懇談会の参加者は53名でした。

今後も、まちづくり活動への参加など、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

ニュース等に関する問い合わせ

宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 担当：新垣、名幸
TEL：098-893-4401(直通) FAX：098-892-7022

キャンプ瑞慶覧返還予定地区 まちづくりニュース

発行：宜野湾市基地政策部基地跡地対策課

2008年9月 Vol. 20

TEL 098-893-4401(直通)

《本号の概要》

平成20年度まちづくり活動についてご確認ください。

キャンプ瑞慶覧返還予定地区は、確実に近づいている返還に向けて、地権者の皆さんを主役にまちづくりを進めています。

今年度も『いつ返還されても、円滑なまちづくりができる用意を整える』ために、まちづくり活動を行っていきます。

平成20年9月24日(水)には、そのキックオフとして、【平成20年度 第1回まちづくり懇談会】を開催しました。

本号では、会議の結果を簡単にご報告します。

1. 現在の状況報告
2. 今年度のまちづくり活動について
3. まちづくり勉強会の参加者募集
4. 質疑応答
5. 文化課からのお知らせ
6. 地主会会長のあいさつ



1. 現在の状況報告 (市基地政策部より)

キャンプ瑞慶覧地区は、当初、平成19年度末の返還が予定されていましたが、沖縄の海兵隊8千名とその家族9千名がグアムに移設されるという、米軍再編の日米協議などもあって、現在は返還期日が見えにくい状況にあります。

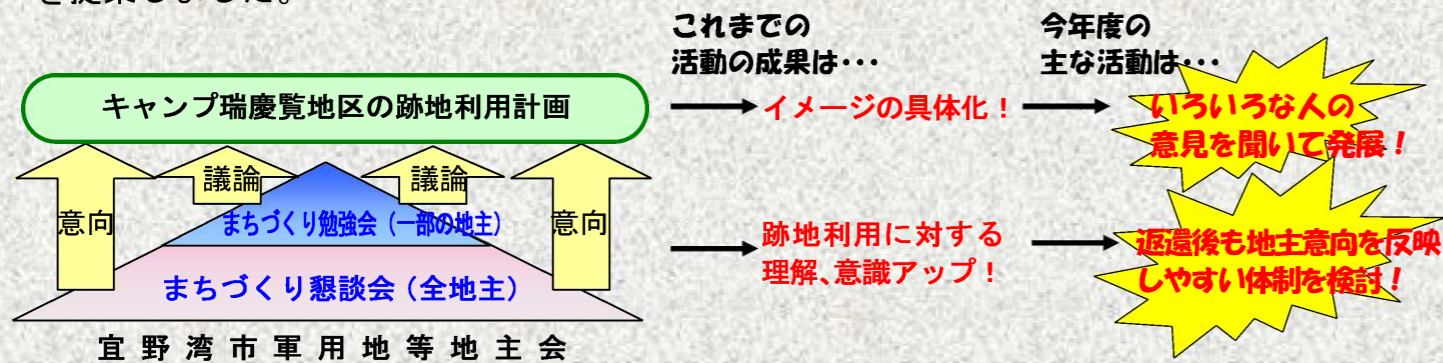
一方、今年4月には、嘉手納以南のすべての基地跡地利用に向けた取り組みを推進すべく、内閣府のなかに専門部署が設置されたところであり、これを考慮すると、キャンプ瑞慶覧地区の返還は確実だし、返還時期もそろそろだろうと理解しているところです。

このように色々な動きがありますが、大事なことは、いつ返還されても良いように、できることはやっておくということです。今年度も、皆さんと意見交換しながら、検討を進めていきたいので、ご協力をお願いします。

2. 今年度のまちづくり活動について

過去6年間の成果としては、「跡地利用のイメージが具体化してきたこと」や「跡地利用に対する地主の皆さんの理解が深まり、意識が高まったこと」が挙げられます。

今年度は、これらを土台としながら、次のステップに進むものとして、以下の活動予定を提案しました。



今年度の主な活動①… いろいろな人の意見を聞いて、より良い跡地利用計画へ発展!

アイデアコンペを開催します!



ぎのわん多自然型住宅地 瑞慶覧ハウジングエリア

- ◆「ぎのわん多自然型住宅地」「瑞慶覧ハウジングエリア」を対象として、多くの人からまちづくりアイデアを募集し、競いあっていただきます。
- ◆コンペ開催にあたって必要となる、募集要項（与えるテーマ、提出物、応募資格、賞金など）については、まちづくり勉強会を通じて検討を行います。
- ◆応募された作品については、審査委員会（学識経験者などで構成）で審査を行いますが、審査に地主が参加することも検討中です。

今年度の主な活動②… 返還後も地主意向が反映しやすいまちづくりの体制を検討!

まちづくり体制を検討します!

- ◆これまでのまちづくり活動は、地主の代表的組織である「宜野湾市軍用地等地主会」を核とした、良いまちづくり体制で推進することができました。
- ◆しかし、返還後の瑞慶覧地区は、軍用地ではなくなり、軍用地主会に属さなくなるため、そのままだと、地主総意が集約しにくくなり、まちづくり懇談会・勉強会の運営も不安定になります。
- ◆そのため、今年度は、返還に備えた円滑なまちづくり体制を検討していきます。

知る・考える・作る・市に
意向伝達できる体制を!



上記を含む今年度の検討事項は、懇談会（2回）、勉強会（5回）、講演会、アンケート調査、現地フィールドワークなどを通じて、具体化していきます!

3. まちづくり勉強会の参加者募集

まちづくりは、**地権者が主体となり、官民協働で進めること**が大切であり、今年度も地主参加型の【まちづくり勉強会】を開催します。

キャンプ瑞慶覧地区のまちづくりに興味のある方、勉強会に参加してみませんか?

「今まで参加していないから…」 「責任重大では…」などは気にしないでください。「次世代にどんなまちを残すのか」を一緒に考えることが重要なのです!

小グループに分かれて



気軽に♪
夜2時間程度

ワイワイ
ガヤガヤ



へえ～
なるほど



◆応募締め切り日：平成20年10月10日（金）

◆連絡先：下記のいずれかにご連絡ください。

- ・宜野湾市役所 基地政策部 基地跡地対策課 TEL (098) 893-4401 (直通)
- ・宜野湾市軍用地等地主会 TEL (098) 893-5077

4. 質疑応答

質問：返還時期が遅れているようであるが、後期高齢者の年代になっている地主もおり、このまま遅れていくと、戦前の土地の状況をまるで知らない子・孫に委ねることになってしまう。米軍は本当に返還するつもりがあるのか。市はどのような見解か?

回答：遅れの原因でもある米軍再編（グアムへの移設）の状況としては、現在、グアムの環境調査を行っているようで、そろそろ移設計画の詳細が出てくるだろうと期待しています。一方、内閣府でも「跡地利用促進室」を設置しており、これらを考慮すると、市としては、返還はそろそろだろうと考えています。

回答：地主会としてもお答えします。今年6月に沖縄防衛局に伺い、返還時期について明確に情報を示してほしい、と要望したところですが、ある不確定な情報では、嘉手納以南1,500haと一緒に返還される可能性がある、また、返還時期も明確でない、とも聞いています。ただ、ここで重要なのは、返還時期が定かでない中でも、議論することはムダでないということです。那覇新都心で完成までに20年もかかったのは、返還されてから合意形成活動を始めたからであり、瑞慶覧地区では、返還後、すぐに事業化できるように、また、個性的なまちづくりを進めることができるよう、努力することが大切だと思います。これからも、同じような活動があるかもしれませんが、それは、間違いなく、跡地利用計画に反映されるものだと思うので、これからもご協力をお願いします。